

# 夢をカタチに

2007年新春。新しい一步を踏み出す時を迎えました。年頭にあたり、新しい夢や目標を描く人も多いはず。皆さんに新しい年に向かってのエネルギーを充電していただきたいと思い、今回は大きな目標に向かい輝いている人たちにスポットを当ててみました。夢や希望を描くことに、年齢は関係ありません。それはいつの時代も私たちに生きる力を与えてくれます。もっと、もっと思い描きましょう。夢は、より大きく。目標は、より高く。市民一人一人が輝くまちであるために。

## 第38回全国大会に出場 当尾小ミニ・バスケットボールクラブ

昨年11月18日・19日・25日の3日間にわたり、第32回熊本県ミニ・バスケットボール大会が御船町スポーツセンターなどで開催されました。女子の部に出場した当尾小中学校はトーナメントを順調に勝ち進み、準決勝で長嶺に52対14で勝利。続く決勝で秋津に39対12で勝ち、圧倒的な強さで3年ぶり2度目の優勝を果たしました。

### 「バスケットが好き」

全国大会に出場するチーム。きつと走り込み中心の厳しい練習をしているのだろうと思いきや、体育館に入りました。しかし、そこには真剣な表情の中にも笑顔あふれる明るい子どもたちの姿。

取材した12月15日は、全国大会に向けた本格的な練習を前に6年生が4、5年生に指導していました。監督の言葉を借りると「師匠」が6年生で「弟子」が4、5年生というわけです。弟子に熱心に指導する師匠。技術と精神は先輩から後輩へ、しっかりと受け継がれています。

### チームの持ち味

平均身長154cm。ガード、フォワード、センターの柱がいるバランスのとれたチームで、どのポジションからもシュートを狙えることが強味です。自慢のセンタープレイヤーに相手のディフェンスが2人付いたらこっちのもの。4対3で有利な試合展開に持ち込みます。また守備ではマンツーマンとゾーンプレスを使い分け、鉄壁の守りを誇ります。それと何と云っても選手の仲が良いことが強さの源です。



県大会に出場した選手たち。宇城新人戦、春季・秋季大会、熊日学童五輪大会、県大会など、平成18年は県内すべての大会で優勝。練習試合も含め、県内のチームには無敗というから驚きです。平成18年8月に行われた全関西大会でも優勝しました。



### 徹底した反復練習

限られた練習時間で、監督はボールに触れる機会を多くするように心がけます。「練習の狙いは何かを理解させ、考える力や状況を判断して行動できる力を付けるように工夫しています」

普段は何種類もの攻撃・守備パターンを繰り返す「パターン練習」が中心。2対2を想定した攻撃だけで10種類もあります。3人(2人)1組で2分間、右・左それぞれ何回も練習。「まず体で覚えて試合に臨む。そしてできなかった時に何が駄目なのか振り返り、理屈で理解してもらいます」

難易度の高い技術練習と徹底した反復練習に、全国制覇を狙う当尾小ミニバスケット部の強さがあります。

### チームワークで全国へ

まじめで優しいと部長からの信頼も厚いキャプテンの中原みちかさん。「九州大会も全国大会も頑張る上を助けるように、今まで以上に一生懸命練習に取り組みたいです。皆が助けられるので、あまりプレッシャーはありません。人一倍、声を出して皆を引っ張っていきたいです」

## 合言葉は「全国制覇」



二人三脚でやってきました。バスケットを通して子どもたちが人として成長し、たくましくなってくれたら、こんなにうれしいことはありません。監督・小林秀勝さん(左)とコーチ・赤星龍一さん

